



よう太のワーク「シャルリエブド」

ことばナビ シャルリエブド ————— 風刺画掲載で襲われる



1970年に創刊されたフランスの週刊紙。皮肉のきいた表現で世の中のできごとを批評する「風刺画」が売り物です。1月7日、パリにあるこの新聞社が男たちに襲われ、編集長や記者ら10人と警察官2人が殺される事件が起きました。同紙はイスラム教の預言者ムハンマドの風刺画などをのせたことで、「イスラム教への冒瀆だ」と脅迫されていました。今回の事件もイスラム過激派の犯行とみられています。

事件後、パリなどで「テロによる言論の自由への侵害に反対する」という追悼集会が開かれ、各国首脳も参加しました。14日には同紙の特別号が発売されました。表紙はムハンマドが涙を流している風刺画です。それに対し、イスラム圏の国々では反発の声も上がり、波紋が広がっています。

「シャルリエブド」特別号をかうために販売店前で並ぶ人たち。1月14日、パリ（AFP時事）

／掲載日：2015年2月1日／紙面：山陽新聞朝刊／掲載：104ページ

●記事からさがそう。

- ① 「シャルリエブド」とは？
()
- ② 「シャルリエブド」は何が「売り物」なの？
()
- ③ 1月7日に「シャルリエブド」で何があったの？
()
- ④ イスラム教の人々にとっては、預言者ムハンマドを絵にすること自体が「イスラム教への冒瀆（けがすこと）だ」と感じるそうです。1月14日に「シャルリエブド」が特別号として、ムハンマドが涙を流している風刺画をのせたことに、イスラム圏の反応は？
()



よう太ワーク「シャルリエブド」

ことばナビ シャルリエブド ————— 風刺画掲載で襲われる



1970年に創刊されたフランスの週刊紙。皮肉のきいた表現で世の中のできごとを批評する「風刺画」が売り物です。1月7日、パリにあるこの新聞社が男たちに襲われ、編集長や記者ら10人と警察官2人が殺される事件が起きました。同紙はイスラム教の預言者ムハンマドの風刺画などをのせたことで、「イスラム教への冒瀆だ」と脅迫されていました。今回の事件もイスラム過激派の犯行とみられています。

事件後、パリなどで「テロによる言論の自由への侵害に反対する」という追悼集会が開かれ、各国首脳も参加しました。14日には同紙の特別号が発売されました。表紙はムハンマドが涙を流している風刺画です。それに対し、イスラム圏の国々では反発の声も上がり、波紋が広がっています。

「シャルリエブド」特別号を買うために販売店前で並ぶ人々。1月14日、パリ(AFP時事)

／掲載日：2015年2月1日／紙面：山陽新聞朝刊／掲載：104ページ

解答例

- ①「シャルリエブド」とは？
(1970年に創刊されたフランスの週刊紙)
- ②「シャルリエブド」は何が「売り物」なの？
(皮肉のきいた表現で世の中のできごとを批評する「風刺画」が売り物)
- ③1月7日に「シャルリエブド」で何があったの？
(男たちに襲われ、編集長や記者ら10人と警察官2人が殺される事件が起きた)
- ④イスラム教の人々にとっては、預言者ムハンマドを絵にすること自体が「イスラム教への冒瀆(けがすこと)だ」と感じるそうです。1月14日に「シャルリエブド」が特別号として、ムハンマドが涙を流している風刺画をのせたことに、イスラム圏の反応は？
(反発の声も上がり、波紋が広がっている)